

きたかみ未来創造会議

創造NEWS 第4号

2009.2.6
第4回会議
まちづくりの
主要なテーマ巻

今年度の折り返しの会議となる「第4回きたかみ未来創造会議」が2月6日（金）に開催されました。

今回は第3回目の内容を受け、それぞれ分野ごとに主要なテーマを設定するとともに、さらなる課題探しを行いました。

■第4回「きたかみ未来創造会議」の概要

はじめに前回会議のふりかえりを行ったあと、市からまちづくり市民アンケート結果の報告(速報版)が行われました。

まちづくりに対する市民の意識がわかる内容で、創造会議の検討にも活かされる資料となります。今後、地域別集計や前回アンケートと比較し、分析した結果についても報告する予定ですので、具体的な施策検討に関しても有益な情報として活用して参りたいと思います。

そのあとは、グループワークを行いました。今回は、前回から引き続き分野別の検討を進めました。

第2回、3回目ですとまとめた「北上市のよいところ、改善したいところ」と第3回目の後半で出された「北上市の課題」をもとにそれぞれ分野別の主要テーマを考えました。

テーマを考える条件（例）は「〇〇〇〇なきたかみ」。

それぞれの分野で未来に向けた「まちづくりのテーマ」がたくさん出されました。その後、主要テーマの実現に向けた課題の整理をさらに行いました。

グループワークでは、それぞれの分野でも専門性を生かした深い議論がされ、今回で分野別のテーマ、課題がおおよそ整理されてきたようです。

次回も分野別からの検討を進め、今度は分野別に北上市全体を考える作業に入ります。今回の未来への視点をさらに深めながら、活発な議論が期待されます。

<次回開催について>

今回は、第4回目の主要テーマ「〇〇〇〇なきたかみ」の具体的な状況を検討するとともに、分野別のテーマ・課題が集合することで「どんなまちになればよいのか」北上市全体の将来像を考えます。

第4回目の会議結果から、それぞれの分野がどのようなテーマを考えているのかを確認して、参加しましょう。

※次回開催 日時：2月24日（火）18時30分～
場所：市民交流プラザ

〇お問い合わせ 北上市政策企画課 64-2111 まで



まちづくり市民アンケートの報告



分野別で主要なテーマの検討



成果発表



成果

分野：保健福祉

「みんながすこやかに 子育てできる きたかみ」

- ・子育てしやすい環境の整備を進める必要がある
- ・無認可の育児施設をなくし、公設、民営型の施設を増やす
- ・公立保育園の不足（0才児～の）
- ・経済力の充実（保育料を安くしてほしい）
- ・保育園での待機者を少なくしていく必要がある
- ・保育料を安くする
- ・0才児保育をする公立保育園を増やす
- ・子育て支援の施設がまだ足りない
- ・出生率は県内1番
- ・子育ての環境がよい
- ・子育ての環境がよい

「みんなで子育てする元気なまち きたかみ」
「子供たちがすこやかに育つまち きたかみ」
「いきいき子育てできる きたかみ」
「子育てにやさしいまち きたかみ」
「北上が目指す手厚い福祉の施策と安心して育てる子育て支援」

「老後も安心してくらせる きたかみ」

- ・医療体制を充実する必要がある
- ・市内に病院が多いので市民は安心できる。
- ・病院数が多くてよい
- ・医療機関がある
- ・高齢者の地域生活と医療の不安を解消したい
- ・北上市内 医院が偏在しすぎる
- ・医師が働きやすいようにする→休日の確保、医師増やしていく必要である
- ・介護度に応じた介護サービスを受けられるようにしたい
- ・現在発足している傾聴ボランティアの組織を市として取り組んでいくべきだ。久慈市の取り組みが参考になる。
- ・自殺者防止への取り組みを進めるべきである
- ・保健・医療分野のサービスや施設の充実（送迎バスも含む）

- ・高齢者の地域生活と医療の不安を解消したい
- ・地区防災の一人居対策を確立すべきである
- ・後期高齢者だけの世帯も増えてきた。地区防災組織のきめ細かい対策が必要。
- ・介護福祉施設が少ないので増やしてほしい
- ・介護施設を充実する必要がある。高齢者の介護のあり方を考えるべき。
- ・高齢者福祉施設の増設、資金のない老人にも入所できる施設
- ・県立北上病院の跡地の利用を高齢者交流施設にするよう進めてほしい
- ・市の将来の老人問題が心配です
- ・高齢者への対策（くらしやすい老後）
- ・高齢者が多い（知恵と知識を活用したい）
- ・老人クラブの地域活動を充実させる
- ・近隣とのふれあいを密にして助け合っていく必要がある
- ・おとなりさまの文化をもう一度見直す（おとなりを大事にする）
- ・元気老人のNPOをたちあげ、見守り活動する

分野：教育文化

「子どもたちが自ら 学びひかり輝く学校 教育」

- ・ 高等教育レベルUP
- ・ 市内に大学がない
- ・ 高校生が市外へ
- ・ 高等教育の施設の充実
- ・ 高等教育の充実
- ・ 専門学校が少ない
- ・ 学校教育の内容の充実
- ・ 学力の向上
- ・ 10年後は小・中生の学力が岩手県のトップクラスになること。優秀な人材の育成のため
- ・ 持ちようある教育方針を決める
- ・ 進学率を上げる
- ・ 学校環境の充実
- ・ 子供の体験機会の多ジャンル化
- ・ 少子化後の教育対策対応
- ・ 1クラスの児童が多い

「社会教育が生きる 力になっている き たかみ」

- ・ 家庭の教育力を向上する必要がある
- ・ 家庭教育の充実
- ・ 生涯学習の充実した環境をのぼす
- ・ 社会教育の機会を多様化する必要がある
- ・ 社会人への高等教育機会
- ・ 世代をこえた社会教育の充実
- ・ 社会教育の場の充実
- ・ 老人大学だけでなく色々な大学をつくる

- ・ 子どもたちの基本的生活習慣（の確立？）
- ・ 年配者の知識を生かす場が必要
- ・ 人材の活用
- ・ 世代間の交流
- ・ 知恵（文化）
- ・ 充実したハード資源を生かすソフトが必要

「スポーツで心と体 が元気になる きた かみ」

- ・ スポーツ人口を拡大する必要がある
- ・ スポーツの体験の充実
- ・ スポーツの活性化
- ・ 専門家が活躍する機会が必要
- ・ 専門家が活躍できる場、機会が必要

「価値ある文化が息 づく街 きたかみ」

- ・ 民族芸能を保存・伝承・発展する必要がある
- ・ 民族芸能の良さをPRする機会を増やす
- ・ 民族芸能の付加価値を高める
- ・ 郷土芸能の更なる発展
- ・ 民族芸能の財源不足
- ・ 民族芸能の活性化
- ・ 民族芸能の担い手の育成
- ・ 文化財の保存・継承が必要
- ・ 文化財の保存・活用
- ・ 歴史文化の活用
- ・ 高度な芸術文化活動の創造
- ・ 芸術の質を高める

分野：産業雇用

「農・工・商の連携のとれたきたかみ」

- ・独自の物産品が少ない（造るべき…）
- ・産業構造のかたより
- ・工業中心の産業構造
- ・工業を中心とした異業種多業種の発展
- ・異業種・多業種があり、働らく選択肢の幅が多い
- ・工業中心の産業構造に問題あり！！農業・工業・商業・観光のバランスある構成（構造）
- ・製造業企業の集積
- ・不況に負けない工業集積
- ・みりよくある職業をふやす
- ・農業を支える工業を
- ・企業が多く働く場所がある
- ・農・工・商の連携
- ・多様性のある工業を活かす

「仕事と教育がつながるきたかみ」

- ・サテライト大学を誘致する
- ・先端技術を受けれる教育場所をもつ
- ・先端分野で活躍できる人材をたくさん作る

「人と技術が工業を支えるきたかみ」

- ・地元（に根指した）資本による工業・農業・商業の育成（人も含めて）
- ・人材を育てる（様々な産業分野で活躍できるように）
- ・派遣労働者が多い
- ・就業支援をふやす
- ・農業研修センターと教育のつながりを増やす

「『良さ』のつながりを活かすきたかみ」（観光）

- ・ゆたかな自然
- ・通年観光がない
- ・観光PRが不足している
- ・観光資源を生かしきれていない
- ・観光開発力が弱い（PR）
- ・ターゲットをしぼった観光PRをする
- ・観光ガイドの養成を増やす
- ・近隣市町村との連携を高める
- ・工業見学のできる観光をつくる
- ・北上の歴史を観光の材料に

「農業をしたいと思うきたかみ」

- ・農業後継者の不足
- ・農業後継者・担い手の育成が必要
- ・農業の将来（担い手）に不安がある
- ・食料自給率を上げる
- ・農業の維持
- ・地産地消を念頭においた農業のしくみ
- ・安心・安全の食材提供
- ・子供の頃からの農業体験
- ・農業所得を上げる仕組みづくり

「『ここしかない』がいっぱいあるきたかみ」（商業）

- ・独自の物産がない
- ・中心市街地の空洞化
- ・中央資本大型店を生かす、利用する
- ・みりよくがあふれるお店を増やす
- ・「市」をつくる
- ・歩いて用の足せる商店街
- ・ついでに買えるまちづくり
- ・住商接近の住宅
- ・店などをつなげる循環バス
- ・農業体験のできる観光

分野：地域整備

「自然と都市のバランスがとれた町 きたかみ」

- ・花がたくさん咲いている道路にする（杉・雑草はダメ）
- ・ゴミのない街 クリーントラストの推進。企業や団体が責任をもって清掃しよう
- ・自然環境を生かした景観づくりが必要である。
- ・自然と都市のバランスがとれた景観
- ・高速交通の整備が進んでいるので、それを活用した観光等の集客に力を入れる必要がある。
- ・自然景観や農村景観が多く残っているので、これの保存が必要ではないか。
- ・防犯 児童見守りシステム、高齢者見守りシステム→ボランティア地域活動 住みたくない理由の解消へ 消防、防災防犯体制に不安の解消
- ・ゴミ不法投棄監視システムの導入が必要
- ・自動車のクリーンエネルギー化必要だ
- ・自然保全地域と都市整備地域のゾーン分けが必要
- ・緑や農地をむやみに減らさないようにする必要がある

「みんなで支える交通のあるまち きたかみ」

- ・冬期間交通確保の手段を考える（含 除雪排雪対策）
- ・オンデマンドバスの導入 タクシー代わりに使えるバス
- ・公共交通網の整備が必要
- ・公共交通の充実が必要だ。中途半端だと車の便利さには勝てない。バスがあれば、バス使うのか？車規制？
- ・公共交通機関の充実か！自動車利用の選択か！
- ・がまんの度合を明確にする必要がある
- ・今後インフラの整備には、金は掛けられない
- ・高速交通体系や幹線道路は整備が進んでいる。これをもっと生かすことが大切。
- ・公共交通の利便性を上げる必要がある
- ・地域コミュニティの活性化を図る必要がある

「災害に負けない きたかみ」

- ・災害が起きたときの対応する力を強くしたい
- ・防災組織の周知・意識を高めることが必要
- ・地区交流センターと防災本部通信網の確立が必要
- ・死なない街にしたい
消防→告知体制野整備必要
救急→救急車両映像伝達システム
防災→治山治水、がけ崩れ、監視カメラ整備
- ・防災組織が整備されてきた。→日頃からの訓練・付き合い
- ・災害に強い道路交通網の整備
- ・災害が来てもパニックにならない様にしたい
- ・学校耐震化、完全実施が必要
- ・地震速報の設備が必要。減災教育、防災訓練、自治防災組織強化が必要
- ・消防出動情報の周知の仕方の多様化が必要
- ・現場から災害情報の収集できるシステムの構築が必要
- ・災害発生ポイントの確認をしやすくしたい（最も危険な個所）住民への周知をわかる様にしたい
- ・避難経路の整備・周知する必要がある
- ・老朽化橋の定期的点検監視及び計画的補修が必要
- ・情報網の整備・明確化する必要がある
- ・地域FM放送の開始が必要

分野：生活環境

「ゴミが少ない きたかみ」

- ・リサイクルシステムの確立
- ・ゴミの分別処理
- ・農作業の（草、ゴミ）も含めて対策が必要である
- ・公共、河川のゴミの対策が必要である
- ・生ゴミの処理
- ・さらなる減量対策
- ・資源ゴミの減量がもっと必要である
- ・リバウンドしないように対策が必要
- ・ゴミ袋の有料化の問題
- ・レジ袋を持参する（エコバック利用）
- ・ゴミステーションなど場所によってばらばら
- ・ゴミステーション 統一性を高める必要がある
- ・ゴミのマナーの向上
- ・他地区からのゴミ捨てを防ぐ
- ・ゴミGメンを増やす必要がある（枚限強化）
- ・ゴミの回収方法アパート、マンション
- ・カラスの対策
- ・企業の商品梱包（ゴミを出さない）の問題

「治安が良く安心して住める きたかみ」

- ・地域のパトロール体制
- ・街灯が少ない 組合
- ・駐在所の配置の見直し 重点地区への配置
- ・子ども110番 避難所の設置と連携

「自然と共生する きたかみ」

- ・水質、上水（水道水）の保全
- ・清水の景が減っているのが問題がある
- ・犬のフンのマナーの改善（向上）が必要
- ・里山の整備
- ・休耕田の手入れ、整備

「公害のない きたかみ」

- ・大気汚染、工場排水排煙
- ・交通 騒音
- ・地下水の汚濁

関連課題

- ・自然の多さと都市機能のバランスがある程度とれている
- ・除雪対策
- ・下水処理施設の整備（下水道の普及）
- ・消防・防災の体制
- ・ママチャリ

分野：推進体制

「世代に結ぐ きたかみ」

- ・現在の30代、40代の人材育成が大事である

「人材育成がスムーズにつなげることができる きたかみ」 「おたがいが活かし合う街」

- ・地域づくりに多様な価値観の人たちをどのようにしてまとめていくか？解決策？
- ・価値観の多様化による距離感が大きいのが。ex) アパート⇔持家、若者⇔先輩
- ・地域における協働のすすめ方（何をどうしたいかを示して…）
- ・(地域、行政、企業、団体の)協働を推進する
- ・地域と北上市が協働でのまちづくり（地域が主）地域住民が地域の問題に詳しい地域自治基本条例
- ・行政、市民、各地域 自治協の関係・役割を明確化するため自治基本条例が必要

「市民が主導し、協働する きたかみ」

- ・地域自治基本（16地区へ対応）条例の制定
- ・（地域）市民・企業・行政が一体となるための自治基本条例が策定
- ・市民活動の推進
- ・市民が主体となり協働を主導し、行政は補う。地域・企業・団体は積極的に関っていく。
- ・地域の役割（できること）行政の役割をはっきりと。→自治基本条例？→地域での協働

「ほっとするまち きたかみ」

- ・安全・安心・豊かに を基本とする感じる協働
- ・人々が生活にゆとりを持ち、まちづくりに意識をして参加できるように
- ・10年後…そこに住む人が「しあわせ」を感じられる街になっていればいいと思う。どこかと競争するとか、欲望には限りがないと思うので、「おちつける街、

「みんながわかりあえる きたかみ」

- ・押しつけのないつながりづくり ex 防犯・安全、（危機感は何？）
- ・高齢化→互助 交わりと交流のしかけづくり 参加して欲しい人のニーズを満たす→まかせる
- ・地域間交流 世代間交流の促進
- ・〈推進体制〉価値観のちがいの調整（地域格差）（世代のちがい）
- ・長期ビジョンの立案が必要

「心豊かな街 きたかみ」

- ・何のために、誰のためにをよく話し合うこと→「民意に基づく」ことが大事で、都合の悪い意見、反対意見も大切にする。

- 「わかりあえる北上」
- 「皆なが作り上げるまち きたかみ」
- 「みんなで話し合う街」
- 「若者が表現（行動）を出来るきたかみ」
- 「弱みを共有して解消出来る北上」

＜ふりかえりシートから＞

- 皆様（特に若い方）の考え方が前向きでうれしく思いました。
- 北上の未来について、明るいテーマが築かれつつあるような気がします。これが地域の振興計画にも大いに活用されるのではないかと考えております。大変参考になりました。
- じっくり考えながら進めていくので時間が少なく感じてしまいます。働いている方も多いのですが、昼間じっくり話し合えたら…と思いました。
- 各自、思い入れのある分野が多く、熱い議論となったが、その分時間が不足してしまった。
- 人によって想いとか考えがちがうんですね。うまくまとめたのはグループのまとまりというか想いの方向性が1つに向っている、向ってきているのかな？
- テーマがより具体的になってくるなか、個々、グループの意見も集約されてきている。
- いろいろな考え、声をまとめて、素晴らしいアイデアが生まれてくると確信しました。
- テーマを考え、次への課題が見えてきたので良いと思いました。
- 発表に対するコメンテーターの話を聞いて前回の計画をみなければ…と思いました。どう変化してきたのか自分たち自身が納得していきたいですネ。
- 一人一人考えたものがグループとして方向性がでてきて、さらに全体としての方向性ができてくるプロセスが勉強になりました。
- 慣れの故か、ファシリテーターの進行が良いのか、話がはずみ、充実した時間を過ごすことができた。
- ウチの班の参加者が少なく残念。でもおかげでたくさん発言できました。テーマがだいぶ絞られてきて、議論が進みやすくなった反面、だんだん責任が重くなってきていることを感じています。
- 参加人数が少なく、盛り上がりにかけてのではないかと！
- 今回のテーマに市民アンケートが活かされていた。各班とも「つなぐ」が重要なキーワードとなってきた。異なるものをつなぐ。
- 北上市の活力の基となる部分である。産業雇用での発言は、参加者の皆さんがわかる分野なので積極的な意見がとびかっていた。
- 10年後の北上を想像しながら、意見を交わしたり、自分が考えることができるのは素晴らしいことだと思います。
- 皆さんの思い入れが強く、活発な議論になりました。それをまとめるファシリテーターも大変だったと思います。お疲れ様でした。
- メンバーから様々な意見が出され、その中でも良いキーワードが出てきている。
- 明日（2/7）は皆と交流をしたい。
- 言葉が出ない。（考えがまとまらなかった）
- これだけの多人数が、熱心に意見を出し合う「すごい会議だな」と感じています。
- 推進体制は各々の計画を進める為、実行性を高める大切な分野として大変でした。
- ワークショップのたびに難しくなってくる。疑問が拡大する感じがする。
- 北上の真髓にふれる部署として、いい加減に考えてはいけないとつくづく思う。

○下読みしてこないとはじめから主題からそれ
て戻り難いのがあった。これは、分業ワーク
ショップの弱点も一部出たのかな。おもしろ
いけどね。

○ファシリテーターをもりたててサポートしな
がら話しあいが出来ていてよかった。
推進体制としてのイメージがあまり広がって
いない気もする。もう少し、事前にイメージ
して次回はこのぞみたい。

○とてもよい項目がでていた。その一つ、公害
のないまち作り（北上）

○5班の参加者が少ない（前回よりさらに）次
回の出席率を上げる方策を！

○安心安全の街づくりの観点を、多重複層的な
検討をしてみたいものです。高校生の住みた
くない理由は、考えさせられます。多項目を
どうすれば解消できるかじっくり話し合っ
てみるのも面白いかもしれません。多様な「知
らせる」「知りたい」のためのシステムが〈神
経系統〉必要という意見が多く出てきたのは
嬉しい。感心しました。

【キャッチコピー】

教育文化：生きる力になる○○

保健福祉：暮らしに生きずいたまち きたかみ

推進体制：「みんなの力が発起できる北上」

地域整備：「市民憲章○市民歌」にかえろう！